

特定小電力防犯センサー

TractBase TractEmitter

取扱説明書



製品をお使いになる前に、本書をお読みください

はじめに

この度は、「TractBase」「TractEmitter」をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品は、赤外線センサーで侵入者を検知して電波で通報する装置です。
製品は発信機「TractEmitter」と、受信機「TractBase」で構成されます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
この説明書はお読みになった後も、本製品のそばなどいつも手元においてお使いください。

製品バージョンの確認

製品タイプの区別は、本体の蓋を開けて内部にあるCPUのラベルにてご確認下さい。
製品のバージョンアップは有償にて承っておりますので、弊社までお問い合わせ下さいませ。

利用範囲

本製品は日本国内でのみ利用できます。海外での利用は電波法が異なるため、利用できません。

TractBaseのPOWERのON/OFFの印刷が逆になっている場合があります。ご注意ください。

製品の最新情報、バージョンアップはインターネットでご確認できます。
製品ホームページ <http://www.adocon.co.jp/>又は<http://www.adocon.jp/>

*本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
*本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

特 徴

- **基本料や固定費ゼロ**

電話回線、携帯電話機などを使いませんから基本料や通信費がかかりません。

- **断続ブザーと点滅ランプでお知らせ**

センサーが人を検知すると受信機の断続ブザーが鳴り、同時にセンサーランプが点滅します。受信機のリセットボタンを1回押すとブザー停止。もう一度押すとリセットされてランプが消灯します。ブザーを鳴らさないサイレントモードもあります。

- **免許申請不要。到達距離見通し800m**

使用している電波は国内法で決められている特定小電力チャンネルを使用しているため、免許不要。見通し800mの範囲でご利用になれます。見通しとは、発信機、受信機のひもアンテナが互いに見えている状態を言います。屋内同士の場合、環境によって到達距離は短くなります。雨の降った日のモルタル作りの住宅の屋内同士で300mが、通常使われる限度です。

- **高品質赤外線センサーを装備**

数千円の検知地ライトなどに使われているセンサーとまったく異なる高安定度のセンサーを搭載しています。温度変化などによる誤報はほとんどありません。検知エリアは最大5mの楕円円錐範囲。発信機を稼働させてから一定時間経過すると検知してもセンサーランプが点灯しません。このため、センサーが仕掛けられていても侵入者に気付かれません。

- **車両、居宅、事務所、店舗、倉庫などに最適**

ガラス窓の外側は検知しませんから乗用車などでも使えます。

- **発信機は電池で3ヶ月動作**

006P型アルカリ乾電池を使用する場合で1日1回未満の通報のとき連続3ヶ月以上利用できます。発信回数により異なりますが、長期にわたってメンテナンスフリーで使えます。

- **1台の受信機で発信機3個所の識別が可能**

受信機はセンサーランプが3個あって、1台の受信で3個所に設置した発信機の通報を識別できます。また、ランプとブザーの鳴り方でセンサー付近を人が移動している様子を知ることができます。

- **IDチャンネルは16種類。同一IDで使えば複数個所で受信可能**

装置を識別するIDの切替はとても簡単です。16種類の設定が可能で切り分けて複数の受信機を使うことが可能です。発信機、受信機共に、同時に利用できる台数に制限はありません。複数個所で通報を受信することができます。

- **屋外からセンサーのセット解除が可能**

発信機を屋外から制御することができます。配線工事と屋外にキースイッチが必要です

- **小型軽量。たばこサイズ**

発信機、受信機とも小型軽量。
発信機はマジックテープで任意の場所に固定できます。

- ・低価格

他社の半分以下の超低価格。もう通報装置にお金をかける必要はありません。

目次

ご使用前に	5
略称、商標について	5
制限事項	5
安全にお使いいただくために必ずお守りください	6
設置場所について	6
お願い	6
パッケージ内容の確認	7
各部の名称とその機能	8
本体外観	8
本体内部	10
動作確認	12
動作確認	12
設置方法	13
設置場所を決める	13
仕様	14
「TractBase」本体	14
「TractEmitter」本体	14
内蔵の MP モーションセンサー	15
履歴	16

ご使用前に

略称、商標について

記載の会社名または製品名は各社の登録商標です。

制限事項

本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。国外では電波法が異なるため、国外でのご利用は出来ません。

到達エリアの確認モードで連続使用しないでください。故障の原因となります

本体の操作について

電源スイッチを OFF にした直後に ON にすると内部 CPU が正しく起動しないことがあります。

電源スイッチを OFF にして、再び ON にする際には OFF の後 3 秒以上待って ON にして下さい。

電源プラグを差し込む場合は本体の電源スイッチを OFF にした状態で差し込んでください。

受信機を壁に固定した場合、ブザー音が小さくなる場合があります。

発信機または受信機の設置場所を変更したときは、実際に発信させて受信できるか確認して下さい。

電池について

発信機の電池は 0 0 6 P 型アルカリ乾電池をご利用ください。

受信機を電池で利用することはお止めください。ご利用時間が短いため適しておりません。

オプションのニッケル水素充電電池を利用した場合は、AC アダプタから自動充電され、停電時でも動作します。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

本商品は以下の注意事項をよくお読みいただき正しくお使いください。
間違った使い方をされますと、感電、火災や機器の故障が発生するおそれがあります。
安全にお使いいただくために必ずお守りください。

- ・ 本商品を人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性や安全性を必要とされる設備には接続しないでください。
- ・ 本製品は電波を利用しているため、携帯電話機の利用を制限されている病院などのエリアでは使用しないでください。
- ・ 本商品は侵入等の防止装置ではありません。本商品の故障、誤動作、不具合、妨害電波、あるいは停電等の外部要因によって、通報の機会を逸したために生じた損害等の纯粹経済損害につきましては、弊社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本体もしくはそれに接続されている部分から異臭がしたり、過熱や煙が出る場合は、ただちにご使用を止め、電源を切り、取り外してお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。
- ・ 本体、及び付属機器を分解、改造をしないでください。
- ・ 本体は、屋内での使用を前提に設計されています。屋外でご使用の際には使用条件定格内になるように工夫してご使用ください。
- ・ 本体内部に異物等が入らないようにご注意ください。
- ・ ACアダプタは必ず付属のものをご使用ください。他の製品の流用は絶対にお止め下さい。
- ・ 一般の乾電池を入れた状態でACアダプタや他の外部電源を使用することは絶対にしないで下さい。充電出来ない電池を充電することになり大変危険です。最悪火災の恐れがあります。

設置場所について

本体を次のような場所に設置しないでください。動作が不安定になったり、おもわぬ火災や故障の原因となる場合があります。

- ・ 急激な温度変化や湿度変化があったり、結露するような場所。
- ・ 直射日光があたる場所。
- ・ 水気、火気のある場所。
- ・ 粉塵等のほこりの多い場所。
- ・ 不安定な場所や振動がある場所。
- ・ 強い磁気や電磁波を発生する機器の近く。
- ・ 腐食性ガスのある場所。
- ・ 気化した薬品や化学反応をおこす様な場所、空気中に塩分が含まれている場所。

お願い

本体やケーブル等は、小児の手の届かない場所に保管、設置してください。
長期間にわたって無人で使用する場合は、必ず定期的に保守/点検を行ってください。

パッケージ内容の確認

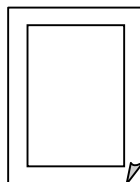
製品をご使用になる前に、パッケージに以下のものが全て揃っているか確認してください。不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。



発信機



プラグ



保証書



受信機



ACアダプター

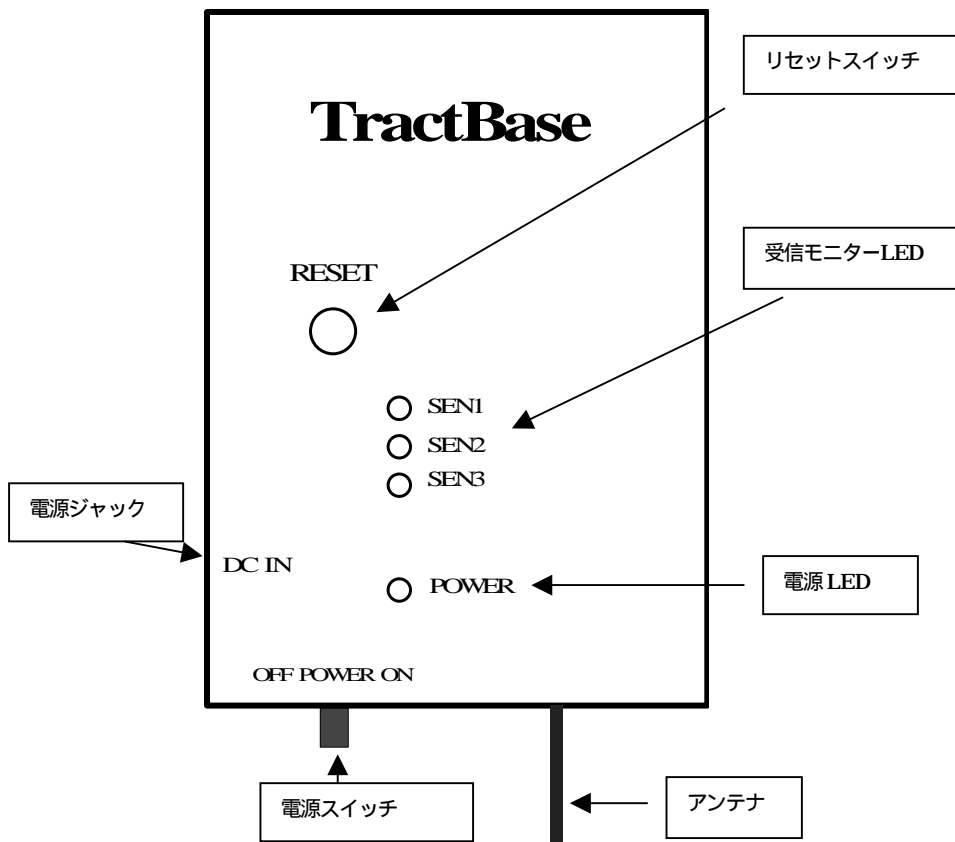
発信機、受信機を単独であるいは追加購入された場合は上記の構成とは異なります。ACアダプタは、受信機の添付品です。プラグは、発信機の添付品です。

* 上図は、実際のものとは多少形状等が異なる場合がありますのでご了承ください。

各部の名称とその機能

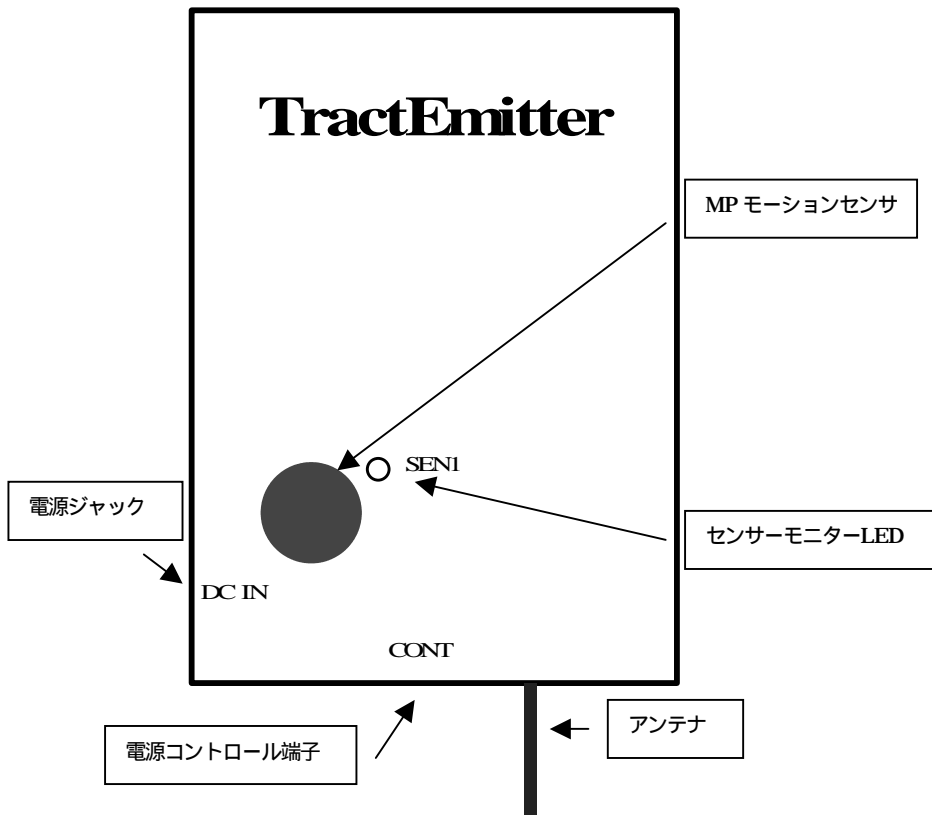
本体外観

受信機



- ・電源ジャック：付属の AC アダプターを差し込みます。中に非充電仕様の乾電池を入れた状態では、このジャックは絶対に使用しないで下さい。
- ・電源スイッチ：前面の印刷に合わせて ON と OFF を切り替えて下さい。
- ・受信モニターLED：発信機からの発信があった時に、発信機ナンバー（1～3）に対応した LED が点灯します。
- ・電源 LED：電源が ON の時、常に点灯します。
- ・リセットスイッチ：発信を受信した時のブザーと LED をリセットします。1 回押すとブザーをリセットし 2 回目で LED をリセットします。

発信機



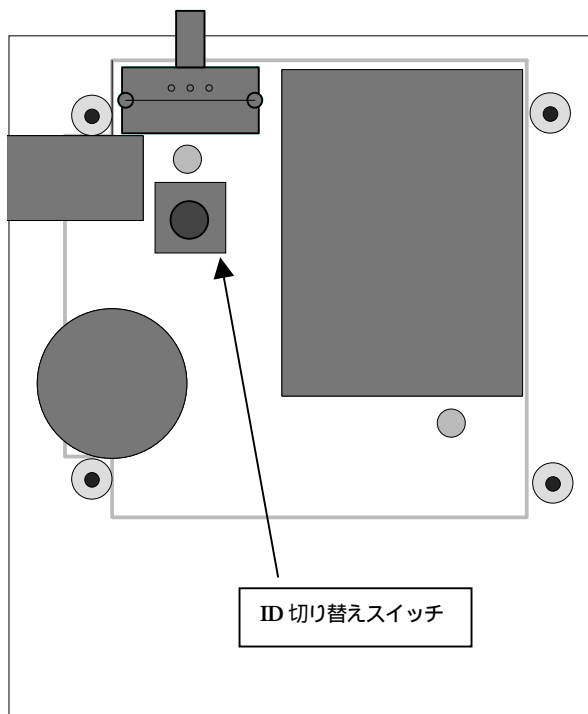
- ・ 電源ジャック：ACアダプターのジャックを差し込みます（発信機用のACアダプターは付属していません）。中に非充電仕様の乾電池を入れた状態では、このジャックは絶対に使用しないで下さい。
- ・ MP モーションセンサー：人、動物等が近づくを検知するセンサーです。
- ・ センサーモニターLED：電源投入から1分間はセンサーが検知しないようになっていますが、その間はこのLEDが等間隔で点滅しています。1分～2分の間はセンサーが検知した時に点灯します。電源投入から2分以上経過すると、センサーが検知してもLEDは点灯しません。
- ・ 電源コントロール端子：発信機の電源オンオフをする為の端子です。標準添付品のプラグを抜き差しすることで行います。プラグを差し込めば電源OFF、プラグを抜けば電源ONです。写真はプラグを差しているため、電源はOFFになっている状態です。また、スイッチやリレー接点等に接続したステレオのイヤホンプラグを差し込むことにより、電源のオンオフを離れた場所から操作出来ます。イヤホンプラグのL R間が短絡すると電源オンとなります（下図参照）。



本体内部

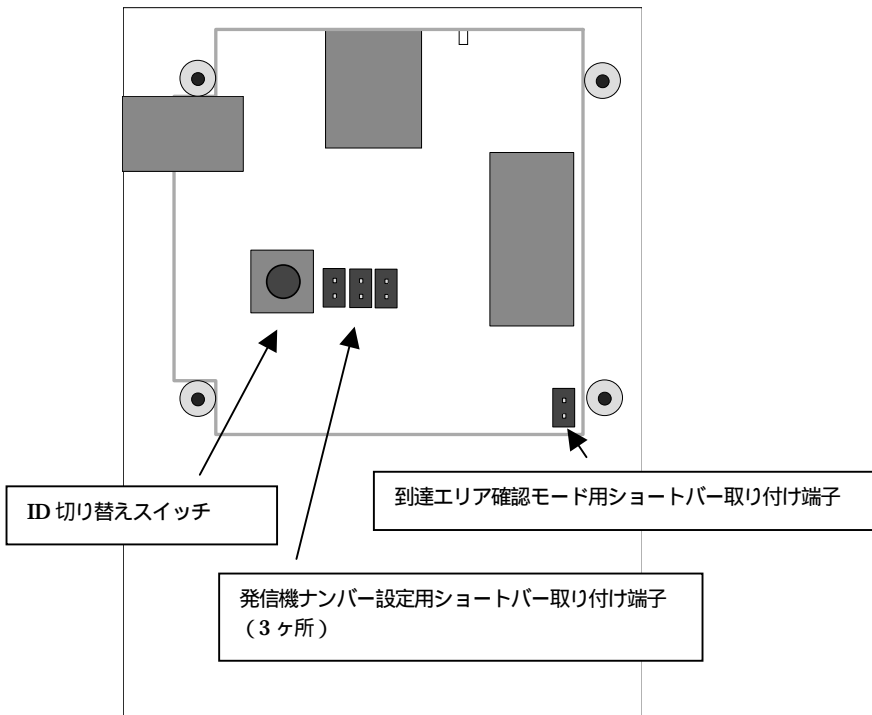
プラスドライバーを使用して裏側の4本のビスを外してからケース上面をゆっくりと上へ持ち上げると蓋はずれます。内部は下図のようになっています。

受信機



- ・ **ID 切り替えスイッチ**：受信機の ID ナンバーを切り替えます。ナンバーは 0 から F の 16 種類です。受信機と ID ナンバーを合わせるによりペアとして動作します。小型のマイナスドライバーでつまみを回して設定して下さい。
尚、スイッチの状態は電源をオンにした時に読み込みますので、電源を入れたままでスイッチを回しても ID は切り替わりません。必ず電源を切って切り替えて下さい。また、このことはドライバーで回路をうっかりショートさせたりしない為にも重要です。

発信機



- ・ ID 切り替えスイッチ：受信機と同様です。
- ・ 発信機ナンバー設定用ショートバー取り付け端子：プラグの端子を、付属のショートバーでショートすることにより発信機ナンバーを設定します（出荷時には、ショートバーは3ヶ所のどれかに取り付けられています）。上図右側のプラグからナンバー1，2，3となります。
- ・ 到達エリア確認モード用ショートバー取り付け端子：上記のショートバーでこのプラグをショートさせることにより、発信機は到達エリア確認モードになります。到達エリア確認モードでは、常にテスト信号を発信している状態になります。後述の到達エリアの確認の際にこのモードを使用します。

動作確認

動作確認

到達エリアの確認

1. 発信機と受信機の ID ナンバーを合わせ、発信機のショートバーを、到達エリア確認モード用ショートバー取り付け端子に差してください（前記の本体内部の項を参照してください）。
2. 発信機に電池を入れて下さい。電源コントロール端子にプラグが差し込まれていなければ、この状態で既にテスト信号を発信しています。到達エリア確認モードでは、発信機の LED は点灯しません。
3. 受信機に電池を入れ、（オプションのニッケル水素充電電池をお使いの場合、十分に充電されていることを確認してください。充電電池を取り付けた状態で、付属の AC アダプターで 24 時間以上通電された後なら満充電になっています）電源スイッチを入れて下さい。お使いの電池が充電電池ではない一般の乾電池の場合は絶対に AC アダプターは使わないで下さい。まず緑色の電源 LED が点灯し、発信機からのテスト信号を正常に受信出来ている場合、SEN3 の受信モニター LED が一定間隔で点滅します。
4. この状態のまま、受信機を設置したい場所まで移動します。設置場所付近では、半径 1 m 程度の範囲で、点滅が不規則になったり、点灯したままあるいは消灯したままにならないことを確認します。発信機、受信機の実置場所は、通常使用するときと同じようにドアや窓などは閉めた状態で確認して下さい。

本稼動

1. 発信機の電源をいったんオフにし、ショートバーを発信機ナンバー設定用ショートバー取り付け 1～3 のどれかに差して下さい。受信機は付属の AC アダプターを取り付けて下さい。ここで、先程テスト時に受信機に入れた電池が、充電できない一般の乾電池の場合は、AC アダプターを付ける前に必ず電池を外して下さい。そのまま AC アダプターを付けると、充電できない電池を充電することになり大変危険です。最悪火災の恐れがあります。もし、発信機に外部電源を使用される場合も同様です。AC アダプター（又は他の外部電源）と充電できない一般乾電池の併用は絶対にしないで下さい。
2. 発信機の電源が入ると受信機のアラームが 1 秒間鳴ります。発信機は SEN1 の LED を 1 分間等間隔で点滅させます。この間はセンサーは検知しません。この間にセンサーが検知しない場所（設置した部屋の外等）まで発信機から離れてください。センサーが検知する範囲内に人がいると、いつまでも検知動作を開始しません。
3. 1 分以上たって LED の点滅が消えてから、再び発信機に近づいてみてください。センサーが検知すると SEN1 の LED が点灯し、無線信号を発信します。尚、電源オンから 2 分以上経過すると、センサーが検知しても LED が点灯しなくなります。これはセンサーの存在を侵入者に気付かれないようにするためにそうなっています。
4. 発信機からの信号を受けて、受信機の LED（ショートバーで設定された発信機ナンバーに対応した LED）が点灯しアラームが鳴ります。この状態はリセットスイッチを押すと解除されます。リセットスイッチを 1 回押すとアラームが鳴り止み、2 回押すと LED が消灯します。

受信機ブザー音

受信機がセンサー反応時に出すブザー音はセンサーに反応した人や動物の状態を示しています。センサーに反応した人や動物が止まっているとき長い断続音（ピーピー）、動いているとき短い断続音（ピピピピ）になるようになっております。

設置方法

設置場所を決める

本体を設置する前に、本書の仕様を確認の上、設置場所を決めて下さい。
壁や天井などに取り付ける場合は、自動車用両面テープを使用して下さい。
アンテナ線は鉄板やコンクリート等から 30cm 以上離れるように設置して下さい。また、ぶらぶらするからといってテープで壁などに貼り付けしないで下さい。到達距離が短くなります。

仕様

「TractBase」 本体

形式	特定小電力無線受信機
電源	付属ACアダプターからの電源供給
停電保証	オプションのニッケル水素充電池により可能
動作温度	0 ~ 40
動作湿度	15% ~ 80% (結露なきこと)
周囲環境	屋内使用、腐食性ガスなきこと。 粉塵等汚れの激しい場所での使用は、カバー等で保護して下さい。
バックアップ用充電池	006P DC9V、ニッケル水素充電池
寸法 (mm)	67(W)×92(H)×29(D) アンテナ部分を除く
重量	重量 約 100g 電池を除く
動作電圧	9.0V ~ 13.0V
消費電流	30mA (最大40mA)

「TractEmitter」 本体

形式	MPモーションセンサー付き特定小電力無線発信機
電源	006P型アルカリ乾電池 外部電源 DC9~13V センタープラス 外部電源と非充電タイプの電池との併用は不可
センサー	MPモーションセンサー
動作温度	0 ~ 40
動作湿度	15% ~ 80% (結露なきこと)
周囲環境	屋内使用、腐食性ガスなきこと。 粉塵等汚れの激しい場所での使用は、カバー等で保護して下さい。
寸法 (mm)	67(W)×92(H)×29(D) センサー及びアンテナ部分を除く
重量	重量 約 90g 電池を除く

内蔵のMP モーションセンサー

本体内蔵のセンサーは、赤外線の変化を検出するMPモーションセンサーです。人体以外の熱源を検知したり熱源の温度変化および移動がない場合には、検出しないことがあります。ご使用の際には以下の状況に注意してお使い下さい。

人体以外のものを検知する場合

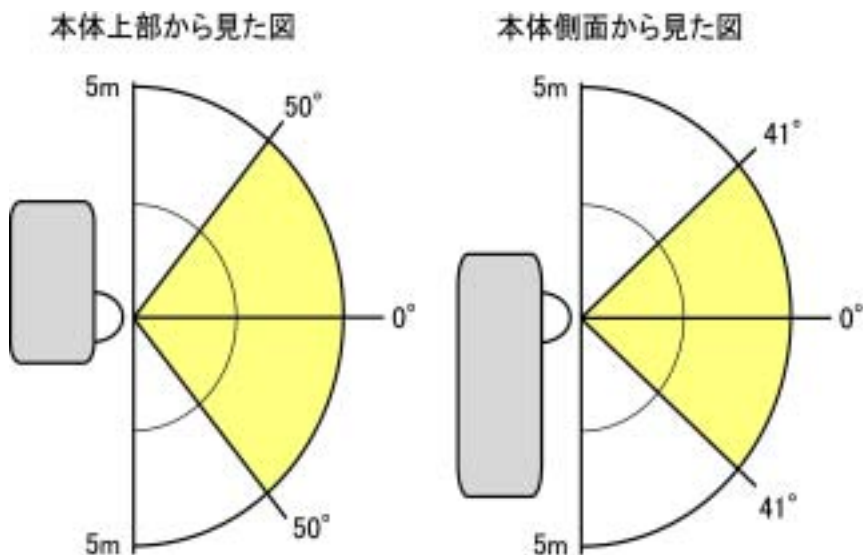
- ・ 人体以外の動物が検出エリアに入った場合。
- ・ 太陽光、自動車のヘッドライト、白熱灯などの赤外線がセンサーに直射する場合。
- ・ 冷暖房機器の温風、冷風や加湿器の水蒸気などにより検出エリア内の温度が急激に変化する場合。
- ・ 通過する車両などを検知することがありますが、これは正常動作の範囲です。
- ・ たばこの火などの強力な赤外線を発するものはまれに検知することがあります。

検知しにくい場合

- ・ 検出対象物との間にガラスやアクリルなどの遠赤外線が透過しにくい物体がある場合は検知しません。例えば、車内と車外の赤外線を遮る窓ガラスが閉まっている場合などです。
- ・ 検出エリア内の熱源がほとんど動かない場合や、高速に移動する場合。

センサーの検知範囲

検知距離	最大 5 m
検知角度 (水平)	100°
検知角度 (垂直)	82°



* 検知距離や、検知角度は周囲環境によって若干異なる場合があります。

履歴

2006 / 02 / 04 Ver2.0

動作説明追記、受信機ブザー音についての説明追加

2006 / 02 / 04 Ver1.9

ホームページアドレスを追加

2005 / 03 / 31 Ver1.7

住所を変更

2004 / 8 / 30 Ver1.6

「送信機」の名称を「発信機」に修正

2004 / 3 / 22 Ver1.5

仕様に動作電圧と消費電力を追加。

2004 / 2 / 20 Ver1.4

センサーの距離を最大5 mとした。

2002 / 5 / 31 Ver1.3

到達距離の説明を追加。

2002 / 5 / 10 Ver1.2

パッケージ内容の確認を修正。

2002 / 5 / 8 Ver1.1

社名変更。

「TractEmitter」 「TractBase」

本書 Ver2.0

取扱説明書

改定 2006年 12月

発行元 株式会社 アドコン
<http://www.adocon.co.jp/> 又は <http://www.adocon.jp/>
本社 TEL (0852) 54-2036 FAX (0852) 54-2196
〒690-2101 島根県松江市八雲町日吉 3-24
東京営業所 TEL (050) 8005-3069 FAX (03) 3784-1421
〒142-0053 東京都品川区中延 5-7-16